

令和2年度 「スラブ・ユーラシア地域（旧ソ連・東欧）を中心とした総合的研究」に関わる「共同利用型」の個人による研究 研究報告書

令和3年4月21日現在

研究課題名	ロシアにおける企業財務と経営分析	
申請者	氏名	所属機関・職
	齊藤久美子	和歌山大学経済学部・教授

研究成果の概要

令和2年9月及び令和2年2月の2回、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターに滞在し、同図書室、大学付属図書館、他部局の図書室などで資料収集、研究を行った。

令和2年1月ごろから、ロシアのみならず、世界を席卷している COVID-19 が与えている世界経済への影響は計り知れない。それも考慮しつつ、北海道大学のみで利用できるデータベース Integrum を主として参照しながら、最新の情報が得られたのは収穫である。

また、かつてから申請者が研究している特に会計用語に関わる語彙の変化、新語の研究についても、コロナ禍で新たなロシア語語彙が生まれてきて、特に「特別損失」のなかに、新語彙、および新しい概念が現れているのではと考えられる。その場合の金額と合わせてである。

それらの研究成果の一部が、下記の発表論文並びに学会報告である。と同時に、注意すべきは財務諸表、決算書が決算がまだ発表されていない。それゆえ、株価を指標としながら、分析を行った。そのため、決算発表がされつつある現在（令和3年4月）、この研究の継続をしていきたいと考えている。

この中で、注意すべきは次のとおりである。

- COVID-19 の影響で経営成績が悪化した産業分野
例えば、航空産業、公共交通産業、観光業、飲食業
- COVID-19 の影響で経営成績が悪くなった、あるいは反対によくなった産業分野
例えば、エネルギー産業、資源産業

下記の研究業績は、ガस्पロムを中心としているが、株価を指標としている。

今後、財務諸表を検討しつつ、研究を発展させたい。

主な発表論文等（雑誌論文、学会発表、図書 等）※謝辞の有無について明記願います。

当該研究活動を基に応募中の研究プロジェクト（科研費等）

※枠を調整することは構いませんが、ページは追加しないでください。